

広報

しょうぼう さつま

119

vol.7

平成20年6月発行

編集・発行

さつま町消防本部

鹿児島県薩摩郡さつま町時吉 366

Tel 0996-52-0119

Fax 0996-53-0119

Web <http://www.satsuma-net.jp/>

mail shobo@satsuma-net.jp



新入団員・ポンプ操法要員合同研修会

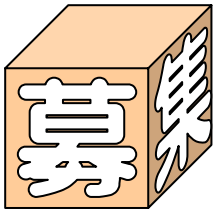


主な内容

- 1・2ページ・・・消防団再編と消防災害支援隊結成
- 3ページ・・・付けてまちか?住宅用火災警報器
わがまちの消防団(中津川分団)
- 4ページ・・・消防本部の組織再編
救急救命士合格・幼年消防クラブ
- 5ページ・・・初期消火功労者表彰
優良婦人隊員・幼年消防表彰

平成20年度全国統一防火標語

火のしまつ
君がしなくて
誰がする



消防団員を募集しています

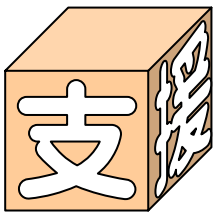
火災や災害が発生した時、地域の事情に詳しく素早く活動できる消防団は私たちにとって頼もしい存在です。しかし、近年は少子化やサラリーマンの増加といった就業形態の変化などの影響から、消防団への青壮年層の入団者は少なくなっており、地域によっては団員数が定数に満たない地域もでてきています。(※下の表参照)

自分が育った町、自分が暮らす町、そして自分が働く町。そんなかけがえのない大切な町を守りたい。その思いがあれば、誰でも消防団に参加できます。地域のことを知っているあなただからこそできることがあります。地域を守る消防団にあなたの力を貸してください。

分団ごとの定数と実員

分団名	定数	実員	分団名	定数	実員	分団名	定数	実員	
中央分団	16	15	山崎分団	22	21	鶴田分団	22	21	
虎居分団	18	15	二渡分団	27	26	神子分団	22	21	
川原分団	15	14	久富木分団	24	24	柏原分団	22	21	
時吉分団	12	12	平川分団	20	18	紫尾分団	22	20	
佐志分団	20	20	一ツ木分団	12	12	薩摩方面隊	永野分団	35	33
湯田分団	16	16	白男川分団	20	20	求名分団	31	31	
柗野分団	15	15	泊野分団	15	14	南求名分団	20	20	
船木分団	15	15				中津川分団	35	34	
			団本部	7	7	合計	483	465	

※平成20年5月1日現在色付きの部分が定数に満たない分団です。



消防災害支援隊を募集しています

◎設立の目的

本町の消防団員の多くは会社勤めで、分団によっては、昼間には消防団員が数名しか居住せず、消火活動に支障をきたすおそれのある地域もあります。

このような中、消防力の強化を目的として、平成19年から団員OBが消防団員の活動を支援する「さつま町消防災害支援隊」が設置されました。

◎設立状況

現在4団体が加盟、活動しています。また、その他の地域でも設立準備が進んでいます。

- ・永野 設立日 平成19年10月8日 隊長以下22名
- ・船木 設立日 平成19年12月5日 隊長以下5名
- ・久富木 設立日 平成20年4月1日 隊長以下13名
- ・中央 設立日 平成20年5月10日 隊長以下6名(※中央分団管轄)

◎活動内容

初期消火活動や消防団の消火活動・住民の避難誘導などを支援します。

◎募集内容

災害支援隊は分団又は区公民館単位で組織していただき、報酬・費用弁償の支給はなく、ボランティア活動となります。ただし、訓練や消火活動中に事故等が発生した場合は補償制度により対応します。

参加を希望される方は、隊長一人を選出し、隊員名簿とともに消防本部へご連絡ください。



永野分団消防災害支援隊のみなさん(5月15日支援隊帽子交付式にて)



自分たちのまちは

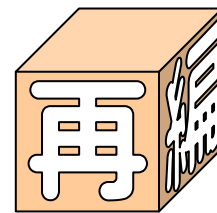
自分たちで守る!

地域の

HERO

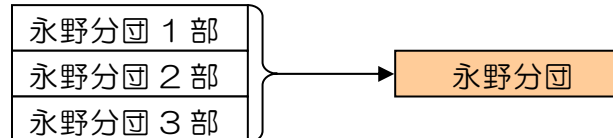
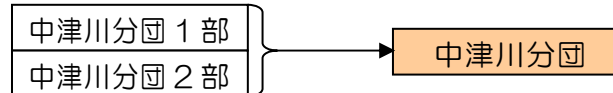
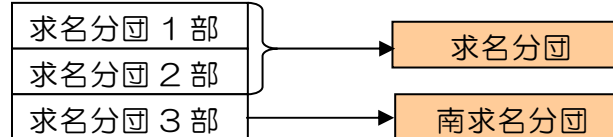
さつま町消防団

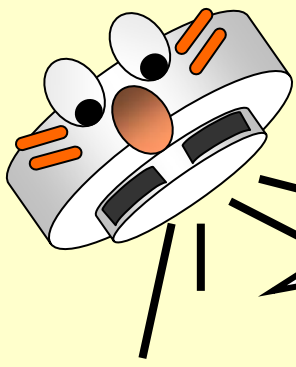
消防団は、地域の安全と安心を守るために地域の人たちが集まり、活動する消防機関です。普段は仕事をして火災や災害発生時には、消防署と連携して消火活動や救助・救出活動、避難誘導などを行い、地域住民の生命や財産を守ります。また、平常時には防火指導や防災訓練を行うなど、地域の消防力・防災力の向上に大きな役割を果たしています。



薩摩方面隊が再編されました

今まで薩摩方面隊は3分団8部制で活動していましたが、4月1日から消防団の分団再編により部制を廃止し、求名分団・中津川分団・永野分団に加え新たに「南求名分団」を新設し4分団制としました。また、宮之城西部方面隊の山崎・久富木・二渡分団の定数等の見直しも行われ、これに伴いさつま町消防団の団員定数が526名から483名になりました。





付けて
ますか？

住宅用 火災警報器

現在町内の全ての住宅に、「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられています。新築住宅は建築時に、すでに建築済みの住宅は平成23年5月31日までに設置する必要があります。

もしものときの安心と安全のために、一日も早い設置をお願いいたします。



良かった!

さつま町内で、住宅用火災警報器を設置していたおかげで、火災にならずに済んだ事例がありました。

この事例は今年3月、近所の女性が「ピーピーピー！」という警報音で道路向かいの住宅から煙が出ているのを見つけ、すぐに119番通報をしたものです。消防隊が駆けつけたところ家人は留守で、ガスコンロにかけてあったナベが焦げているのを発見。住宅用火災警報器を付けていたおかげで火災を未然に防ぐことができたというものです。



ご注意ください!

九州各県で、住宅用火災警報器の悪質な訪問販売が多発しており、近隣では大口市で被害の報告があります。

その手口は、高齢者宅などで言葉巧みに家に上がりこみ、警報器を強引に設置し法外な値段を要求するというものです。少しでもおかしいと感じたら消防署または警察署までご連絡ください。 消防署 52-0119 さつま警察署 53-0110

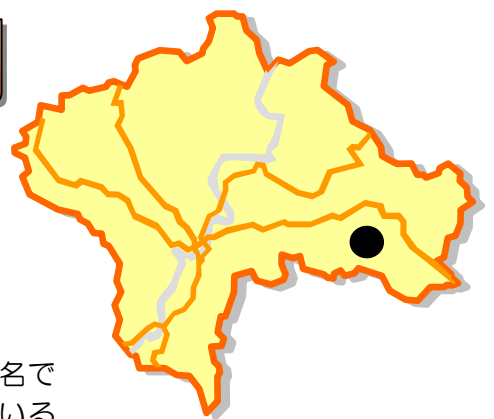
シリーズ わがまちの消防団



宮脇純治分団長

中津川分団

分団長 宮脇純治 副分団長 江藤繁隆
部長 福田孝義・木下賢治 以下34名
管轄～中津川校区全域(453世帯 1176名)
※平成20年4月1日現在

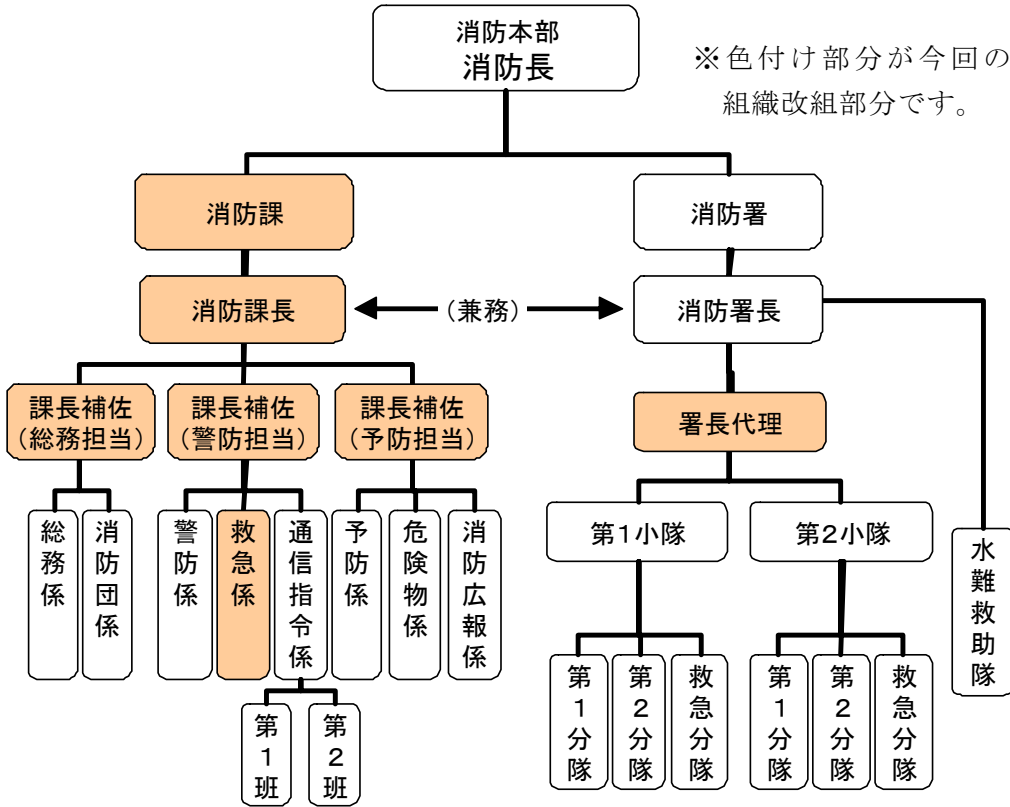


中津川分団は、今回の消防団の再編により分団制になり、団員34名で消防活動を行っております。一人ひとりの任務の重要性を強く感じているところです。地域住民の生命財産を守るために、中津川婦人防火クラブの協力もいただきながら予防消防に取り組んで、安心して暮らせる地域づくりに頑張っています。

また、これからもいろいろな行事にも積極的に参加して、地域活性化のため奉仕の精神で団員一丸となり住民を守っています。



まつま町消防本部組織図



※色付け部分が今回の組織改組部分です。

消防本部組織改組について

消防本部は、昭和56年4月に業務開始以来、今年で27年目を迎えました。この間、平成17年3月の市町村合併により、それまでの祁答院地区消防組合からさ

し、これに伴って次のような新たな行政需要への対応が求められています。
 (一) 複雑多様化・大規模化する災害への対応、(二) 救急業務の高度化の推進、(三) 住宅火災による焼死者防止対策の推進、(四) 市町村消防広域化の推進、(五) 国民保護法体制の整備等、喫緊の課題が山積しています。

このようなことから消防本部では、そうした課題に誠実に取り組むため、本年4月1日から消防長統括の下、消防課を新設し、消防署長兼任の課長を配置したほか、課長補佐を置き体制の充実強化を図ったところです。

今後とも、市民の皆さまから信頼される消防組織を目指すとともに、持続可能な安定した組織作りにより職員一丸となって取り組んでまいります。

まつま町消防本部
消防長 田上 泉

誕生!

11人目の救急救命士

今年3月に実施された救急救命士国家試験に、村田健一消防副士長(28歳)が見事合格。当本部11人目の救急救命士が誕生しました。現在、就業前の病院実習を終え救急隊員として活動しています。



訓練中の歴屋士長(右)と村田副士長

結成!

しび保育園幼年消防クラブ しび保育園婦人防火クラブ

平成14年度から、旭保育園と合同で幼年消防クラブ及び婦人防火クラブを結成し活動してきましたが、本年度から別々に結成して活動していくことになり、このほどクラブ旗の授与式を行いました。



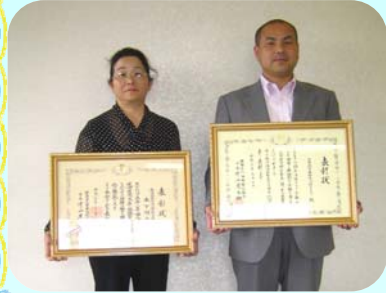
クラブ旗を受け取る隊長の西屋奏良くん

優良団体表彰

中津川婦人防火クラブの木下順子隊長が、長年にわたり高齢者宅への防火訪問などで地域防災に貢献されたことが認められ、日本消防協会から「優良婦人消防員」の表彰を受けられました。

また、吉祥保育園幼年消防クラブ（永田隆生隊長他31名）も積極的な火災予防活動が認められ、日本防火協会から「自治体消防制度60周年記念表彰」を受けられました。

受賞おめでとうございます。



木下さん 永田さん

火災未然防止表彰

火災を未然に防いだ功績をたたえ、野在住の久永秋さんと宮之城屋地在住の出水佳代子さんを表彰しました。

お二人は隣家から出ていた焦げた臭いなどから異常を敏感に察知され、その後の的確な行動で被害を最小限に食い止められました。

お二人とも「夢中でしたが当然のことでした。」と話されています。

「と話されています。」と話されています。ご協力ありがとうございました。



久永さん 出水さん



フレーム式急速展張テント

ドラッシュテントを導入

～大規模災害用～

消防本部はこのほど、九州では初となる「フレーム式急速展張テント（通称「ドラッシュテント」）」を導入しました。

このテントは、設営時に特別な工具などを必要とせず、人力だけで短時間に設営・撤収が可能であることが大きな特徴です。また、2重幕構造により断熱性にも優れ、さまざまな気象条件下において快適な使用が可能のため、大規模災害発生時の応急救護所や仮設避難所などで積極的に活用を図ります。

このテントの導入には、平成19年度電源立地地域対策交付金交付事業費として4,300千円が充てられました。



消防ほっと写真館



署員手作りの顔出し看板で「ちびっこ消防士気分^^」
【JA さつま農業祭】
2007.11.11



消防車の説明に熱心にメモを取る姿がみられました。
【小学校3年生社会科見学】
2008.01.21



防火ポスターコンクール入賞おめでとうございます(^_^)v
【防火ポスター表彰式】
2008.02.23